

プロジェクト代表者	玉置淳子(衛生学・公衆衛生学・教授)
共同研究課題名	生活習慣病予防のための疫学的研究
目的	健康寿命の延伸のため、生活習慣病予防と高齢期の介護予防を目標として、以下のテーマを本研究の目的とする。 無作為標本 25 年追跡調査により、骨粗鬆症性骨折が動脈硬化のリスクを高めるか検討し、骨・血管関連に基づいた最近の知見を加味した骨折リスク評価モデルの開発を行う。
内容	骨領域疫学研究最長 JPOS 研究の 25 年次追跡調査に際し、以下の目的を達成する。 1. 15 年間の動脈硬化進展に対する、既存骨折・骨密度低下並びに新規骨折の影響を明らかにする。 2. 心血管疾患発生リスク評価モデルに、予測要因を新たに加え、心血管疾患発生リスクに与える骨折の影響の大きさを明らかにする。 3. 骨折リスク評価モデルに、心血管疾患既往・発症、骨・血管関連指標を加え、影響評価を行う。 以上により、骨・血管関連に基づいた最近の知見を加味したリスク評価モデルに基づいた、個々人のリスクに対応した予防策立案に繋げる。
学内共同研究者	顧 艶紅(衛生学・公衆衛生学・講師)
	林 江美(衛生学・公衆衛生学・講師)
	神谷訓康(衛生学・公衆衛生学・講師(准))
	久藤麻子(衛生学・公衆衛生学・助教)
	柿花宏信(衛生学・公衆衛生学・助教)
	津田晃司(衛生学・公衆衛生学・助教)
学外共同研究者	伊木雅之(近畿大学医学部公衆衛生学・教授)
研究費	4,000,000 円